

◎認定作業療法士取得 松井隆太(まついりゅうた)

認定作業療法士(認定OT)とは、OTの実践技術はもちろん、指導能力や研究活動・管理運営能力にも秀でているOTに与えられる資格です。現在、OT有資格者数は約8万人ですが、認定OTの資格取得者数は800名程と少ないのが現状です。私は、OT7年目となりましたが、1年目よりこの認定OT取得に必要な様々な研修や発表、勉強会参加等に励んでまいり、今回認定OTを取得することができました。今後も患者さんが満足していただけるようなリハビリテーションを提供していく為にも、OTとして更なる質を高め、地域での活動や学会参加や発表等を通じて自己研鑽に励んでいきます(リハビリテーション科 松井)。



◎Tradition (伝統)「高口理髪店の紹介」

通称、「病院のとこや」と呼ばれていますが、正式には「高口理髪店」といいます。創業は昭和44年から今年48年目になります。昭和27年に山上町から現在の天領町に移設し、平成4年に病院の本館ができたので、それに伴い平成5年から現在の店構えになったそうです。レトロな風情は、昭和44年からの病棟の看護ステーションを改装した造りのためです。外来や病棟から車イスの方でも容易に来店頂くことができます。多数の方々のご来店をお待ちしています(地域医療連携室 梅田)。



◎栄養管理室コーナー「旬の食材 青しそ」

青しそは別名大葉ともいい、年中出まわりますが、本来は初夏から盛夏が旬です。栄養としてはβカロチンが大量に含まれるほか、ビタミンB群のうちB1、B2、B6、ビタミンC、E、Kも多く、ナイアシンも含まれます。カルシウムが豊富なほか鉄、カリウム、マグネシウム、亜鉛なども豊富で栄養価の高い食材です。青しその独特の香り成分は強い抗菌作用・防腐効果があり、刺身のつまや料理のあしらい、薬味に欠かせない理由がわかりますね。また食中毒を予防するほか、消化酵素の分泌を促し、食欲を増進させて胃の調子を整える作用もあります。これらの作用はこれから夏にむけて暑くなる季節にはぴったりの食材ですね。病院食でもこの時期には青しそを使用した“胡瓜の青しそ和え”や“香味焼き”などが登場します。みなさんも夏バテしないように三食の食事とバランスのとれた食事を基本に暑い夏を乗りきっていきましょうね(栄養管理室 大城)。



編集後記

梅雨の蒸し暑さが続いています。梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですね。7月7日は七夕です。七夕の話を思い浮かべ、ベガとアルタイルを探しながら、星の観察をしてみたいかでしょうか。また、ペルセウス流星群(日本では8月13日午前4時頃がピーク)や2年ぶりに全国で部分月食(8月8日早朝)が見られるそうですよ。梅雨が明けると夏本番です!!夏祭り・キャンプ・海水浴・旅行にと楽しい思い出を作れるといいですね(地域医療連携室 三浦)。



交通アクセス

- JR鹿児島本線大牟田駅下車.....徒歩20分
- 西鉄天神大牟田線大牟田駅下車.....徒歩20分
- 九州自動車道南関ICより自動車.....25分
- 西鉄バス大牟田駅前バス停乗車
- 天領校前下車(行先番号2番).....下車徒歩3分
- 天領町1丁目下車(行先番号4番).....下車徒歩0分



- 診療受付時間 月曜～金曜日 / 8:30～11:30 (診療開始 8:45～) 午後の診療時間についてはお問い合わせ下さい
- 土曜日 / 8:30～11:00 (診療開始 8:45～)
- 休診日 日曜日、祝祭日、年末年始(12/30～1/3)
- 面会時間 平日・土日祝祭日 11時～20時まで

voice 当院に対してご希望やご意見がございましたら職員にお気軽にお申し付けください。また、ご意見箱も是非ご利用ください。

天領医療連携だより

Ohmuta Tenryo Hospital 2017.6



医療理念

- 一、患者中心の医療
- 二、医療の質の向上
- 三、地域社会にあった手づくりの医療
- 四、安心と信頼を持たれる病院づくり
- 五、経営の安定と職員満足度の向上

基本方針

- 一、地域の病院、診療所および介護施設と連携し、急性期医療を担当する中核病院として地域医療に貢献する。
- 二、患者さんに安心とつろぎを与える医療と介護を提供する。
- 三、医療水準向上のため職員の教育および臨床研修を充実する。
- 四、経営基盤を安定させる。



◎病院長就任の挨拶 | News

平素、皆様には本院をご利用いただき、また、ご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。この度、私は本年4月1日に院長に就任致しました。これまでは、熊本大学の呼吸器内科教授として診療、研究、教育に従事してまいりました。医学部卒業後の7年間は、熊本大学と九州内の病院7施設で診療を致しました、その間1年は熊本大学の救急・集中治療部でも診療しています。私の専門は呼吸器内科ですが、重症患者を含めて内科全般を診療いたします。若い頃に多くの病院で診療させていただき、外科等の異なる診療科の医師とともに診療をしたことが今の自分を支えています。1986年からは、アメリカ合衆国のカリフォルニア大学サンフランシスコ校に2年間留学し、帰国後は、熊本大学で、臨床、研究、教育を推進致しました。現在、ベストドクターとして選出されていますが、この名称は優れた臨床医として評価されたもので、臨床医としては大変名誉なことです。これまで共に仕事をさせていただいたスタッフや患者さんに感謝申し上げます。先日、就任前の本院訪問の道すがら、「大牟田天領病院はどちらですか?」とおたずねしたところ、「ああ、三井病院ですね!」と言われ、ハッとしました。本院は、明治22年(1889年)に三池炭鉱の創業開始とともに創立され、昭和27年本院が現在地に移転となり、平成14年に三井大牟田病院から社会保険大牟田天領病院と名称が変更になりましたが、これまで128年間、大牟田・荒尾、有明地区の皆様にご愛顧いただいていることが感じられました。

私たち職員一同は、本院の理念であります「地域社会にあった手づくりの医療を目指します。手づくりの医療とは、「個人のニーズに合わせた医療を実践することで、多面的に患者さんの身体や思いに合わせた医療をすることを意味する」と考えています。その結果、患者中心の質の高い医療がなされ、そこで初めて本院の理念に沿った診療が可能になります。これらのことは医療のプロフェッショナルでなくてはできないことですが、職員がさらに研鑽することにより可能なことです。その結果、皆様から、本院を安心と信頼が保証される病院として認めていただける施設になり得るものと考えます。

今後とも、大牟田天領病院をご利用いただき、皆様とともに最高の医療を目指しますのでよろしくお願い致します。

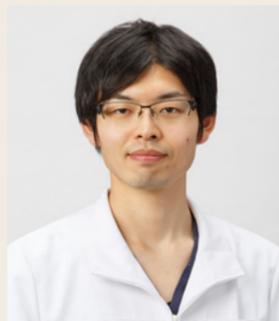
病院長

興 梶 博 次 (こうろぎひろつぐ)

- 専門医・認定・所属学会等
- 熊本大学名誉教授
- 日本内科学会認定医、指導医
- 日本呼吸器学会専門医、指導医、功労会員
- 日本アレルギー学会、功労会員
- 日本感染症学会
- 日本呼吸器内視鏡学会
- 日本癌学会
- 日本肺癌学会
- 日本炎症・再生医学会
- 日本アレルギー協会九州支部評議員
- European Respiratory Society
- ベストドクター(2010年～)



◎新任医師の紹介 | News



呼吸器内科 高木 僚 (たかきあきら)

4月から赴任しました呼吸器内科の高木と申します。前任は熊大病院でした。もとは荒尾市の生まれで、この地域に来ることができて嬉しく思っています。医師4年目、呼吸器内科2年目と未熟な点が多いのですが、一つひとつのことを一生懸命取り組んでいますので、よろしくお願ひいたします。

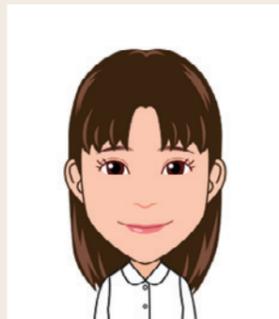
- 専門医・認定・所属学会等
 - ・日本内科学会
 - ・日本呼吸器学会



整形外科 浦田泰弘 (うらたやすひろ)

4月から赴任しました整形外科の浦田と申します。平成24年久留米大学卒業後、医師として5年目です。本院にて、これまでの経験を活かし、さらに研鑽をして、患者さんのために頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひします。

- 専門医・認定・所属学会等
 - ・日本骨折学会



リハビリテーション科 山崎裕子 (やまさきゆうこ)

この4月より、10年の歳月を経て再びお世話になることになりました。この病院に戻って、患者さんに貢献できることが本当に嬉しいです。リハビリテーション科としてこの地域の皆さんに最大の努力をもってお手伝い致します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

- 専門医・認定・所属学会等
 - ・日本リハビリテーション医学会臨床認定医
 - ・日本リハビリテーション医学会専門医
 - ・日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士
 - ・リウマチ財団登録医
 - ・身体障害者福祉法指定医
 - ・義肢装具等適合判定医



◎平成29年度 新入職員採用辞令交付式

4月3日(月) 当院福祉センターにおいて、平成29年度新入職員に採用辞令の交付をしました。採用は、医師4名、薬剤師1名、放射線技師1名、理学療法士2名、作業療法士1名、看護師8名、准看護師2名、介護福祉士1名、医療秘書1名、事務職員1名の計22名です。新しい制服に身をつつんだ新入職員は、身が引き締まる思いで辞令の交付を受けました。医師以外は、新卒者ばかりで職業人として第一歩を踏み出すこととなります。今まで学んできた知識を土台に経験を積み重ね、早く職業人として一人前になることと、医療機関の一員として地域医療に貢献出来るよう日々努力することが約束されました(経営企画室 三神)。



◎福岡県社会保険医療協会「新入職員英彦山集合研修」

4月5日・6日英彦山青年の家で1泊2日の新規採用職員研修会が行われ、社会保険大牟田天領病院からは16名が参加しました。当日は、天候があまり良くなく、英彦山青年の家は標高800mということもありとても冷え込みました。

集合研修では、医療協会の概要・規則・制度、社会人・組織人・医療人としての心がけ、医療理念に基づいた患者さんの権利、TQM(総合的品質管理)や接遇についての講義がありました。患者さんあつての医療であるということを念頭に、各々が成長に関心を持ち意識を高めて役割を果たすことで全体が安定・向上し、これらの連携によってより良い「チーム医療」を実践していけるのだと再確認しました。また、医療はサービス業であるため接遇の重要さや大切さを改めて感じ、日々向上させて今後の業務に活かしていこうと思いました(健診センター 永田)。



◎看護部「新人集合研修」

今年は元気で明るい、若さあふれる11名の新人看護職員(看護師、准看護師、介護福祉士)の入職がありました。看護部には、スタッフ全体で新人看護職員を育ていくサポート体制があります。新人職員合同研修後、配属部署では勤務せずに1週間の集合研修を行っています。研修では看護師、介護福祉士としての基礎技術の習得や、社会人の心構えについて学習し、組織(医療)人になるための教育を行いました。実践により近いかたちで演習を行っており、新人さんたちも緊張の面持ちで、とても真剣に取り組んでいました。

今は、各配属先で先輩スタッフについて、実践力を身につけるために日々頑張っています。経験を積んで技術を磨き、一人ひとりの患者さんに寄り添い、心のこもった看護・介護が提供できる専門職業人として成長してほしいと期待しています。

なお、新人看護職員は、名札に若葉マークを付けていますので、患者さんから声を掛けて頂けると嬉しいです(看護部 福島)。



◎看護の日・看護週間

厚生労働省は「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」を老若男女問わず、誰もが育むきっかけとなることを目的に、5月12日を「看護の日」と制定しています。この5月12日は、近代看護の礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの生誕の日にちなみ制定されたものです。

当院看護部では毎年、この看護の日を含む1週間を「看護週間」として患者さんや市民の皆さんにサービスをしています。今年は5月12日～5月19日(土曜日曜を除く)までの6日間行いました。

身長・体重・BMI・血圧・血糖測定、認知症コーディネーターによる「認知症相談」や薬剤師からの「お薬相談」を行い、看護の日の記念グッズも配布させて頂きました。この「看護週間」も少しずつ定着し患者さんや家族の方からも「この日を待ったよ〜」「また来年もお願いねえ〜」と声をかけて頂くことも多くなり一人ひとりの患者さんやそのご家族の笑顔や会話に触れることで私たちもやりがいを感じ、充実した時間を過ごす貴重な時間を得ることが出来ました。

この催しは来年も続きます。これからも検討を重ね患者さんやご家族、地域の皆さんのために「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」と「天領病院の心」をお届けできるイベントとなるように取り組んでいきたいと思ひます(看護部 馬場)。

